

国連協会世界連盟
「ミレニアムプロジェクト」
における未来研究

第1回未来学フォーラム

2007年11月10日

東京経済大学

日本未来学会常任理事

CSPジャパン顧問

松本 信二

目次

- ミレニアムプロジェクトのスポンサー
- 国際協力の実態
- 15の地球的挑戦課題
- デルファイ調査
- 未来シナリオ作成
- SOFI (State of Future Index)
- 未来研究の方法論

ミレニアムプロジェクトのスポンサー

- 国連協会世界連盟 (WFUNA: World Federation of United Nations Associations)
- 国連大学アメリカ協議会 (American Council for the United Nations University)
- Applied Materials
- Army Environmental Policy Institute, US Army
- Deloitte & Touche, LLP
- Ministry of Communications, Republic of Azerbaijan
- Ministry of Education and Presidential Commission on Education, Republic of Korea
- UN Future Forum (Korea)

国際協力の実態

- 本部 米国ワシントン
- 29ノード (27カ国)
- アジアでは、日本、韓国、中国、インド
- 日本ノードは日本未来学会 (松本信二)
- 基本的にはボランティア活動
- 開発途上国に関しては若干の援助
- 1996年から継続的に実施
- 年に2回の企画会議

15の地球的挑戦課題(その1)

1. 持続可能な開発
2. 抗争のない水の供給
3. 人口問題と資源のバランス
4. 独裁主義から民主主義への転換
5. 長期展望に基づく政策立案
6. グローバルな情報活動
7. 貧富の差を縮小するような倫理的市場経済形成

15の地球的挑戦課題(その2)

8. 新しい疫病や再出現の疫病による脅威
9. 研究機関の変化に対応した意思決定のあり方
10. 民族間抗争、テロ、大量破壊兵器を減少させるための戦略
11. 女性の立場の改善
12. 国際組織犯罪ネットワーク強化の防止
13. 安全で効率的なエネルギーの供給
14. 人間社会を改善するための科学技術の推進
15. 地球規模の意思決定における倫理的な配慮の定着

デルファイ調査

- 未来の科学技術政策
- 中東和平シナリオ
- 地球規模のエネルギー問題 (スポンサー: クーウエイト石油会社)
- 2030年の教育・学習 (スポンサー: 韓国教育省)

未来シナリオ作成

中東和平シナリオ (2003実施)

- Water Works
- The Open City
- Dove

2020年地球規模のエネルギーシナリオ (2005年 実施)

- Business-as-Usual
- Environmental Backlash
- High-Tech Economy
- Political Turmoil

2030年の教育・学習(その1)

- Collective Intelligence展開のための国家プログラム
- JIT知識・学習
- 個別対応教育
- シミュレーションの活用
- 精神不安を防止するための個別学習の継続的な評価
- 知識増強のための栄養補給
- 知識増強のための遺伝子操作
- ヴァーチャルリアリティの教育への応用
- 知識増強のための公共通信システムの活用

2030年の教育・学習(その2)

- 携帯用人口頭脳
- 学習効果を増強するための人間の神経系統の解明
- Web 17.0(自然言語インターフェース)
- 生涯学習統合システム
- 偏見・憎悪を除去するためのプログラム
- E-Teaching
- 人間よりもスマートな機械の出現
- 知識を増強するための人工微生物

SOFI (State of Future Index)

- 未来を予測するための変数の抽出
- 各変数の特質の評価 (未来にとっての良し悪し)
- 各変数の重要度評価
- Indexの年次変化
- Indexの国別差異

抽出したSOFIの変数例

- 良質の水が供給できない地域の人口率
- 識字率
- 堕落(贈収賄等)の程度
- 就学率
- 貧困率(1日1\$以下の人口比率)
- 核兵器保有国数
- 炭酸ガス廃棄量(kt)
- 非就業率
- GDP当りのエネルギー消費量
- 紛争・戦争の死者数
- 科学技術予算(国家予算の比率)

未来研究の方法論

Future Research Methodology

- 目次の一部
- The Delphi Method
- Trend Impact Analysis
- Structural Analysis
- Decision Modeling
- Scenarios
- S&T Road Mapping
- State of the Future Index (SOFI) Method
- 計 27項目

RT (Real Time)デルファイ

- インターネットのみで対応でき、郵送やファックスの必要がない
- 質問に関連した情報を即座に参照できる
- アンケートに答えると、即座にそれまでに得られている結果と自分の回答の関係が分かる
- 1人で複数回の回答が容易にできる

ミレニアムプロジェクトの特徴

- 継続性（11年間の実績）
- ニュートラルな立場の維持
- 毎年報告書発刊・発売（詳細データはCDに記録）
- ボランティア的な活動